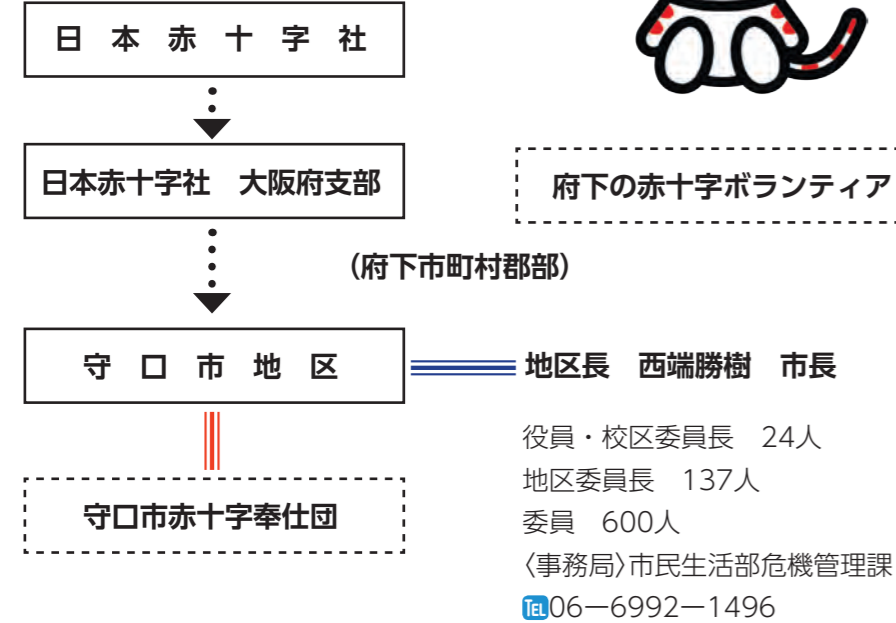


守口市赤十字奉仕団は
府下の地域赤十字奉仕団
72団のうちの1団です



- 特殊赤十字奉仕団 12団
- 地域赤十字奉仕団 72団
- 青年赤十字奉仕団 4団



『いのちと健康を守る』



ハートラちゃん

私たちの想い 皆さんに支えられた赤十字活動

守口市赤十字奉仕団って何してるの??

近年災害などが増え、多くの人が被害に遭われています。市内でも支援活動をしている皆さんや団体があります。今回は、「守口市赤十字奉仕団」の活動などについて、佐々木 佐智子 奉仕団委員長にお話を伺いました。

1859年、ひとりのスイスの青年、アンリー・デュナンが「傷ついた人々を救いたい」との思いから赤十字は始まりました。それから150年、世界189カ国のネットワークを生かし、災害や紛争などの現場で支援活動を行っています。

世界で苦しむ人がいる限り、国内外での災害救護活動や復興支援活動、いのちを守るための講習会、ボランティア、医療事業など赤十字の活動は終わりません。

私たちが守口市赤十字奉仕団も組織のひとつとして昭和24年に設立され、今年で66年目を迎えます。



奉仕団委員長 佐々木 佐智子

長い伝統と7人の委員に支えられ、活動を続けています。奉仕団活動を通して、地域に貢献できる喜びを胸に抱き、人道と博愛の精神のもとに全委員が協働して、地域の皆さんから信頼される活動を展開していきたいと考えています。

赤十字の活動は皆さんの支えで成り立っています。より多くの皆さんからのご協力をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

子どもたちの未来のために 命をつなぐために

私たちの想いは永遠です

主な活動

- ▽京阪電車守口市駅前など献血会支援協力
- ▽守口市献血推進協議会へ助成金
- ▽被災見舞金支給制度
- ▽被災者炊き出し支援
- ▽防災訓練炊き出し支援
- ▽防災啓発プログラム、救急法、家庭看護法など講習会開催および支援
- ▽市内各種協議会委員に参画
- ▽各種講演会、研修会に参加多数



- ①樟風中学校区のデイキャンプ (ハイゼックス袋の炊飯訓練)
- ②大久保幼稚園炊き出し訓練
- ③～⑤土居校区防災訓練
- ⑥～⑨大久保小学校炊き出し訓練
- ⑩研修会
- ⑪校区長会議
- ⑫～⑭市民まつりでの献血会支援協力



赤十字の「活動資金」(社資募集運動)にご協力をお願いします

日本赤十字社大阪府支部は、「いのちと健康を守る」さまざまな活動を行っています。その活動を支えているのは、皆さんからお寄せいただいた「活動資金」です。

これをもとに、身近な地域から国境を越えた場所まで「苦しんでいる人を救いたい」「の思いを「活動やもの」に変えてお届けしています。

活動資金＝社資「社費・寄付金」

あなたも400ml献血へのご協力をお願いします

病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うため、日本赤十字社では17歳～64歳の健康な皆さんに、献血のご協力をお願いしています。

注 60歳～64歳に一度でも献血経験がある人は、69歳まで献血可能です。

医学が発達した現在でも、血液は人工的に造ることができず、長期保存もできません。冬季は特に血液が不足しますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



幼稚園や小学校・地域で炊き出し訓練を実施

地域の防災訓練やイベントなどで、アルファ化米や炊飯袋を使った炊き出し訓練(体験)を行っています。

また、幼稚園や小学校では、子どもたちに赤十字や献血のことを伝え、ともに防災や減災を考える取り組みを進めています。



けんけつちゃん